



市議会ホームページ
QRコード



令和2年度予算議案を 含む41議案を可決

●令和2年第1回定例会を、
2月21日から3月26日までの
35日間の会期で開催

⇒市長の施政方針に対する
各会派等による代表質問を
日曜議会で実施 4～5面

⇒各会派等の一般会計予算
議案に対する賛成・反対討論
6～7面

⇒市長提出議案40件を議決
10面

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年第1回定例会の日程を変更するなど対応しました。

提案議案等 を問う

令和2年 第1回定例会 各委員会における質疑等【要旨】

各議案等の要旨や結果は、10面をご覧ください。

予算特別委員会

令和2年度の一般会計及び5特別会計の予算議案の審査は、予算特別委員会（高瀬かおる委員長、田中政義副委員長。議長以外の21人で構成）を設置し、3月17日から24日までの5日間審査を行いました。

【議案の審査】

■議案第1号 令和2年度国分寺市一般会計予算

○財政フレーム等の質疑

- Q 一般会計予算に占める債務負担行為額の割合の他市との比較は。
A データを持っていない。債務負担行為の取扱いは、各市さまざまなため単純に比較できないが、検討したい。
- Q 経常収支比率が、令和2年度で改善される見込みだが、その理由は。
A 市税収入の伸びと地方消費税交付金の増を見込んで推計している。

○歳入の主な質疑

- Q 市税の滞納者に対する事務の流れは。
A 納付期限を過ぎ約20日後に督促状を送付し、その後催告書を送付する。
- Q 間違っただけの方の催告書が入っていた、以前にも同様のことがあった、と市民の方から情報をいただいた。この点についての見解は。
A あってはならないこと。しかるべき対応をとり再発防止策を検討する。
- Q 森林環境譲与税の充当先は限られるが、どのように考えるか。使途公表により、他市の状況も参考にしよりよい使い方を。
A わんぱく学校での森林体験の経費及び樹林地保存に充当を考えている。他市の状況も参考にしていきたい。

○人件費の主な質疑

- Q 超過勤務時間の増加に対して、削減のための新たな取組は。
A 超過勤務時間の上限設定の考え方を持っている。
- Q 前年度と比較して、令和2年度では月額会計年度任用職員数が26人減となっているが、市民サービスに影響はないか。
A 影響はない。職員配置の適正化を進めていきたい。

○歳出の主な質疑

- Q パートナリシップ制度導入の検討には、市民参加で検討し推進していく形が望ましいがいかかか。
A 他市の状況の研究も進めており、手法等について検討していきたい。
- Q 児童虐待相談等の連絡について、児童相談所から市区町村へも事案送致が行われることについて、市の体制は。

A 児童家庭相談システムの導入により、事務の効率化を図り、ケースワークをより充実させていきたい。

Q 7月実施予定のペットボトルの戸別収集に伴って、排出抑制と販売店への返却を今まで以上に周知・啓発する必要があるのでは。

A 廃棄物減量等推進委員等と連携しながら更なる周知をしていきたい。

Q 観光大使に、市外の機会でも市のPRをお願いしたいがいかかか。

A 観光大使の名刺も活用しながら発信していただいている。

Q 国分寺市都市計画マスタープランに掲げる土地利用計画の見直しについて、住民への丁寧な説明、わかりやすいホームページ掲載をお願いしたい。

A 丁寧な説明と、検索しやすいホームページの掲載をしていきたい。

Q 中学校における体育館の空調設備設置の決定に至った考え方は。

A 第一中学校の冷房効果の検証と、他自治体事例のRC構造、S構造でも効果が確認できたこと、防災の観点からも設置を決定した。

Q 効果等を見極め決定いただき評価する。しっかり取り組んでほしい。

Q 中学校の校庭開放の検討に、まずは利用状況の調査ができないか。

A 学校と調整し、データの蓄積ができるか検討したい。

○総括質疑では、市税催告書の誤送について、市から改めて事務の流れと誤送の原因が報告され、再発防止策が示されました。

■議案第2号 令和2年度国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算

- Q 駅前広場におけるバス・タクシー事業者の使用料にかかる予算は。
A 現在、調整中。広場条例の提案は第3回定例会を考えており、歳入予算が生じる場合は適切な時期に予算案の提案を考えている。

■議案第3号 令和2年度国分寺市国民健康保険特別会計予算

- Q 被保険者数の減は、新年度以降もその見込みか。
A 社会保険の適用拡大により、国保被保険者数は減る見込み。

■議案第4号 令和2年度国分寺市介護保険特別会計予算

- Q ヤングケアラーに対する取組は。
A 相談支援総合調整会議を設定し、状況把握に努めている。

■議案第6号 令和2年度国分寺市下水道事業会計予算

- Q 水洗便所の普及状況と水洗普及に要する経費の内容は。
A 水洗化率99.2%。下水道管内に入る際に使用する機器の修繕費を予算計上している。

ほか■議案第5号 令和2年度国分寺市後期高齢者医療特別会計予算についても審査

総務委員会

【議案の審査】

■議案第13号 国分寺市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について

- Q 引用条文の変更内容は。
A 内容については同じだが表現が変わったものである。

■議案第14号 国分寺市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例について

- Q 特定個人情報保護評価の運用状況は。
A 各課適正に扱っているが、今後もしっかり管理できるよう体制を整えたい。

■議案第16号 国分寺市営住宅条例の一部を改正する条例について

- Q 市営住宅の需要と供給は、どのような状況か。
A 市営住宅に空室が出たときに市報等で募集を行い、応募者の中から抽選で決定している。そのため、待機していただくというようなことはない。
- Q 本条例の一部改正について、該当するケースは実際にあるのか。
A 不正行為による入居ということで、該当するケースはない。

【報告事項】

・シェアサイクル事業について、国分寺市農業委員会委員の募集結果について など

厚生文教委員会

【議案の審査】

■議案第9号 平成31年度国分寺市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

- Q 社会保険適用拡大に伴う国民健康保険の被保険者の減少により、特定健診の対象者はどのくらい減少するのか。
A 合計で718人の減少を見込んでいる。

■議案第10号 平成31年度国分寺市介護保険特別会計補正予算(第4号)

- Q 介護保険施設への入所者の減少の要因について、要介護認定者の減少ではなく、その他の施設への入所者の増加によるものか。
A サービス付き高齢者向け住宅などの整備が進み、高齢者の住まいの選択肢が増えてきているため。

- Q 介護予防における健康推進施策の効果測定は行っているか。
A 一つ一つの事業では行っているが、今後、全体の事業を通して行っていく。

■議案第11号 平成31年度国分寺市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

- Q 葬祭費の支給の制度は、市民に認知され、利用されているか。
A 葬祭費補助として5万円を支給する制度で市民にも利用されている。

ほか■議案第17号及び36号を審査

【報告事項】

・新型コロナウイルス感染症対策について、第二小学校増築棟の整備について、第五小学校内学童保育所の整備について など

建設環境委員会

【議案の審査】

■議案第12号 平成31年度国分寺市下水道事業特別会計補正予算(第3号)

Q 昨年の台風19号並みの台風が万が一あった場合は、雨量の処理量を超えて溢水してしまうことはあるのか。

A 市の対策雨量は、時間値50ミリに対応する能力を有しているため、昨年の台風の状況であれば、溢水することなく処理ができる。

Q 今年度、改修工事が延伸となったのは、都道の多喜窪通りのどこなのか。

A 国分寺駅前の交差点から、府中街道との交差点までの区間である。

【調査】

■都市計画マスタープランに掲げる土地利用計画の見直しについて ・史跡武蔵国分寺跡周辺エリア、東恋ヶ窪エリア、恋ヶ窪駅周辺エリアについて

Q 恋ヶ窪駅周辺エリアでの庁舎の跡地活用は、市民にとって大きな関心ごととなる。地域懇談会はどのように進めるのか。

A さまざまな意見の交換ができるような場の運営に努める。また、跡地活用の担当部署と連携しながら、議論を深めていく。

【報告事項】

・まちづくり推進地区の検討状況について など

国分寺駅周辺整備特別委員会

【議案の審査】

■議案第8号 平成31年度国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算(第3号)

Q 制度上、東京都の補助金を過年度収入として令和2年度予算に計上しているが、補助金の繰り越しができない理由は何か。

A 東京都全般に言えることだが、補助金の要綱などに定められているのではないかと認識している。

【報告事項】

■国分寺駅北口交通広場について

Q 市民参加について、イベント広場の使用が想定される関係団体へのヒアリングはどのように行っていくのか。

A 3月からヒアリングを行っていく。また、4月に市報に掲載の上、広場の活用を希望する団体なども募集し、意見を聴取したい。

Q キスアンドライドには何台くらい停車できるか。

A 東側と西側に一般乗用車が3台ずつ停車でき、福祉車両優先乗降スペースを1台分ずつ予定している。

■その他(交通広場整備のクラウドファンディングの状況について)

Q 市の想定以上の金額の寄附があったことから、今後、広場の維持管理等の名目で2次募集を行うことは考えているか。

A 御意見として受け止め、寄附の申し出の状況等を注視していく。

公共施設等総合管理特別委員会

【議案の審査】

■議案第15号 国分寺市新庁舎建設事業者選定審査委員会設置条例について

Q どのような方をどのような視点で委員として選定するのか。

A 事業者選定の審査経験がある方、大学等で専門性を有する研究をされている方など、知識・経験を有する方が候補として考えられる。

Q 委員構成が5人とのことだが、その考え方は。

A 他自治体の状況等を勘案すると5人前後のところが多いため。原則5人の委員で網羅することを考えているが、特に必要な場合は、委員以外の方の意見も聞くことができる。

Q 公共事業を進めるにあたっての地元企業の関わり方について、どのような考えを持っているのか。

A 新庁舎建設にあたり、事業者の提案を募集するが、その中で地元への貢献という視点も含めて審査の必要があると考えている。

Q 会議は非公開とのことだが、議事録は公開するのか。

A 現時点では未定。今後、可能性を探っていく。

【報告事項】

- ・現庁舎用地の活用について
- ・「(仮称)国分寺市新庁舎建設基本計画」(原案)について
- ・国分寺市学校施設長寿命化計画について

補正予算審査特別委員会

【議案の審査】

■議案第7号 平成31年度国分寺市一般会計補正予算(第9号)

Q 待機児童解消区市町村支援事業交付金が減った要因は何か。

A ゼロから2歳児の保育園利用人数を前年度より100人多く見込み整備したが、実際の利用人数は92人ととどまってしまったことにより、交付金の指定要件をクリアできなかったため。

Q 市が管理している道路照明灯のLED化率はどの程度か。

A 約36%である。

■議案第37号 平成31年度国分寺市一般会計補正予算(第10号)

Q 火災による清掃センター破碎施設の不燃ごみ搬送コンベア等の焼損について、一部、本来補正予算で対応すべきところに予備費を充用していることは適切ではないと考えるが。

A 事故の経過と緊急性から予備費充用はやむを得ないと判断したが、時系列でいけば補正予算での対応ができる可能性はゼロではなかった。議会との信頼関係の中で、御指摘は真摯に受けとめていきたい。

■議案第39号 平成31年度国分寺市一般会計補正予算(第11号)

Q 小口事業新型コロナウイルス感染症対策資金金融制度の周知方法は。

A 制度周知のチラシを市内公共施設と市内金融機関に配架するほか、商工会等にも周知の協力依頼をする。

ほか■議案第38号及び40号を審査

国分寺市議会における新型コロナウイルス感染症に対する主な対応について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、次の対応を行いました。

- ・3月3日(火)から3月13日(金)までを休会日とし、会期日程を2日間延長して3月26日(木)までを会期としました。また、各特別委員会の審査日数を短縮するなど令和2年第1回定例会の日程を変更しました。
- ・3月17日(火)と3月26日(木)に全員協議会を開催し、感染拡大防止に関する国分寺市の対応について、市長より報告を受け、その内容について協議しました。
- ・議場および委員会室において、議員、職員、傍聴者への手指消毒とマスク着用の協力を依頼しました。また、議場および委員会室の換気、ドアノブの消毒等を定期的に行いました。



施政方針を 問う

令和2年 第1回定例会 代表質問での質問・答弁(要旨)

各党派等を代表して代表質問を行った議員が、一定のスペースで自由にまとめたものを掲載しています。実際の質問は、自由民主党市議団、国分寺政策市民フォーラム、公明党、日本共産党国分寺市議団、無党派（国分寺・生活者ネットワーク）、無会派の順番で行われましたが、紙面の都合上このように掲載しています。

未来に向けて持続可能なまちづくり

本日は日曜議会、そして天皇誕生日であります。天皇陛下におかせられましては還暦のお祝いでもあり、おめでとうございます。両陛下のご健康と国民の安寧を祈り代表質問をいたします。

持続可能な財政運営について

今後の持続可能な財政運営に向けて伺う。

(市長) 人口減少は全国的に始まり。当市では昨年の人口ビジョンで令和12年がピーク。財政負担は、中長期的な視野で財政運営に努める。収支均衡を図り、基金等も含めて堅実に運営。

児童虐待の防止について

井澤市長になり最初に取り組みされたのが「子どもいじめ虐待防止条例」の制定。昨年9月東京都は児童虐待相談等の連絡調整に関する基本ルールの見直しを行い、児相から市区町村へ事案送致を行う事となった。内容と市の影響を伺う。
(市長) 昨年9月制定の「東京ルール」は従来、児相だけで処理していた情報を早く解決を図るため基礎自治体でも情報を共有し、児相との連携を図るもの。基礎自治体で処理できる軽微なものは早期に対応する体制をつくる。システムにより事務の効率化を図る。守る責務を果たす。

安全で快適な学校生活に向けた環境整備

小・中学校の体育館の空調設備の予算化は評価する。第一中学校の検証結果について伺う。

(教育長) 小学校体育館の空調設置につき他市を視察。第一中学校の体育館では熱中症対策として効果と効率を確認した。防災の視点からも設置の必要性は極めて高い。3年度全校設置。

一人一人を大切にす場の充実

市長は教育環境整備を積極的に進めてきた。今年度、整備する主なものを伺う。

(市長) 今年度はICT環境の整備、中学校の無線LANの整備、各教室でパソコンが使用可能に。トイレ洋式化、教室増設等を継続し注力したい。

プレイステーション (プレステ) について

移転後のプレステはどのような施設となるのか。
(市長) 土地面積も広く、プレイステーションの利用者の方々、親子ひろば、高校生まで幅広い年代が利用できる多目的な施設にしたい。

戦後75年平和を次の世代へ

平和を語り継ぐ事は大切。新たな取り組み、市長の平和への強い思いを伺いたい。

(市長) 戦後75年。今迄の平和行事に加えて東

自由民主党市議団
尾作 義明



京空襲に関する資料展を開催したい。平和祈念行事では長崎の伝承者から講話を聞かせていただく予定。平和を語り継ぐ事に力を注ぎたい。

東京2020大会を契機にした取り組みについて大会後も友好関係を継続、発展させることがレガシーになる。ベトナムとの今後について伺う。

(市長) ベトナムではパラへの理解、スポーツ環境が整っていない。お互いに無いものを交換できるような友好関係、理解をひろめたい。

バリアフリーのまちづくり

国分寺駅の西武国分寺線、多摩湖線にホームドアが整備される。JR駅への設置を要望する。

(市長) 従来から要望。中央線は2025年目処。

新型コロナウイルスへの対応について

感染対策、現状の検討状況を伺う。

(市長) 国分寺市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置。情報共有、情報提供に努めたい。

その他、西町三丁目交差点改良事業、無電柱化事業、台風を教訓とした防災力の向上等を質問。

「未来」を見据え、「今」を堅実に前へ！

自治体経営と人口について

だて) 多摩地区で1位の人口増加率となった当市であるが、立地の良さだけではこの先も「選ばれる街」を持続していく事は厳しい。人口減少の中、特に若年層の定住を都市間競争の中で勝ち得ていくための中長期的な戦略を伺う。

(市長) 子育て施策や交通空白地域の解消、緑の保全等の取組みが受け入れられた成果として人口増に繋がったと考える。更に「科学のまち」といった要素も魅力の一つとして発信していく。

新型コロナウイルス対策について

だて) 感染が拡大している新型コロナウイルスであるが、国分寺市や近隣市において感染者が発生した場合の対応を伺う。※2月23日時点

(市長) 市対策本部を立ち上げ、多摩立川保健所との連携をとりながら情報収集と提供を行う。

小学校体育館のエアコン設置について

だて) 当会派からも強く要望していた小学校体育館へのエアコン設置が予算計上されたことを大きく評価する。課題となっていた鉄骨造である小学校体育館への冷房効果の検証は確実になされたとの理解で良いか確認する。

(教育長) 他市の同構造の体育館を視察し、断熱設備を施さずとも1時間で約7℃下がったことを確認したことから、当市においてもエアコンの設置を決定した。

性差の無い、多様な暮らしを目指して

だて) 女性活躍、ジェンダーフリーについて施政方針にしっかりと取り入れられている事は評価するが、社会の根底にある無理解や古い価値観に切り込む具体的な施策は見えてこない。

また、同性パートナーシップ制度についても進めていくとのことだが、これを機にどのように市民全体に理解を深めてもらうかが重要なポイントであると考えているが見解を伺う。

(市長) 残念ながら未だジェンダーへの意識が残っていることは確かであり、それを払拭していくためには市民の理解や協力が必要である。市としてもあらゆるツールを使いながら、近隣自治体の例も参考に進めて参りたい。

鉄道に関連した魅力発信について

だて) 市内には鉄道総合技術研究所があり、新幹線ひかり号の技術開発が行われた事など、鉄道に関連した人を呼び込める資源が多くある。

国分寺政策市民フォーラム
だて 淳一郎



今後、市庁舎移転に際し、ひかりプラザに空きスペースが生まれるが、鉄道総研の方々にもご協力頂き、活用の検討を進めてもらうことも含め、鉄道にまつわる魅力発信を求める。

(市長) 当市は鉄道学園があったことなども含め、鉄道と深いつながりがある。鉄道総研も大変協力的であり、今後も一緒になって大きな魅力の一つとして鉄道について発信していきたい。

ペットボトル戸別回収について

だて) 本年7月を目途にペットボトルの戸別回収を開始するとの表明があった。排出抑制を前提にとのことだが、若い世代を中心に逆に排出拡大へつながってしまうのではないかと懸念の声が多くある。排出抑制を市民にどのように理解し実行してもらうか見解を伺う。

(市長) 様々な意見があるのは承知している。市役所内でもペットボトル削減に率先した取り組みを行うとともに、7月からの戸別収集の実績を見て、その次の対策を検討したいと考えている。

市政運営・市政改革の柱は人材育成にあり！

木村=限られた時間なので、政策論は予算委員会で行い、ここでは人材育成を中心に伺う。施政方針に「変化を受け止め、適応できる職員」とあるがそうした職員をどう育成していくのか。
(市長) 人材育成は一朝一夕にはいかないが、庁内研修を充実し、自分のノウハウも話すように努めている。幅広い分野を経験させることで縦割り行政を排し、人材育成を図っている。

木村=かつては都合が悪いことは隠す風潮があったが、井澤市政での、ミスも積極的に明らかにし改めていく姿勢は評価している。一方で、課長がやるべきことを部長、部長がやることを副市長がやってしまうような問題が見える。

(市長) 多くの知恵を集めて決定していくプロセスを踏みつつ、一つ上の仕事を目指して、スピード感をもった職員を育てていく。

無党派
木村 徳



木村=財源があつての政策実現であり、庁舎建設も控える中でコスト意識の浸透が重要だ。

(市長) 令和2年度は収支均衡予算を達成できたが、将来に渡っての負担を考えつつ、歳入増と歳出抑制を図り、財政規律を確立していく。

持続可能な社会をめざしSDGsの推進を！

「誰も置き去りにしない」という理念を持つSDGs。持続可能な社会をめざす視点で質問したい。

1. 財政問題について

問) 収支均衡型予算編成、基金残高が前年度を上回ることにについて評価する。過去2番目の予算規模の要因、持続可能な財政運営の実現への取り組みは。**市長)** 保育園事業、学童保育所、学校施設関係、子ども関係の事業に大いに力を入れた。慎重かつ適正な財政運営を行いたい。

2. 新庁舎建設にむけて

問) (仮称)国分寺市新庁舎整備基本計画の策定、新庁舎の基本設計から設計・施工を一括して行う事業者選定の実施には、ていねいかつスピード感が必要。**市長)** 基本計画策定は7月に、事業者選定は年度末には決定したい。**問)** 移転後の現庁舎用地の活用と恋ヶ窪駅周辺のまちづくりは並行して行われる大事な事業。今以上に、まちの活性化が必要と考える。**市長)** 現庁舎用地に出先機関を残すことも含めてご意見を聴きながら進める。今後の発展が大いに期待されるようなまちづくりをすすめたい。

3. 安心して産み、子育てできる環境づくり

問) 幼児教育・保育無償化の対象にならない施設等の利用者への市独自制度「幼児養育費補助金」の創設を評価する。国の動きを注視すべき。

市長) 国は予算に対するスキームを示していない為、動向をみながら的確に対応したい。**問)** 学童保育所の狭隘状況は厳しい。児童の安全な環境整備のための拡充策を求める。**市長)** 増設への認識はある。民設民営学童保育所の誘致、公設学童保育所の整備を行っていく。**問)** 小中学校の屋内運動場空調整備の全校設置を決定されたことを評価する。**市長)** 一中や他市の状況を検証した上で進めるという方針のもと決定した。令和3年度までに全小中学校に設置する。

4. 東京2020オリパラから得られるもの

問) オリパラのレガシーは共生社会の実現、バリアフリーへの取り組みである。バリアフリー基本構想策定にどう取組むか。**市長)** 誰でも住みやすいまちを目指すという考え方を基本として2年かけ策定したい。**問)** 西武国分寺線・多摩湖線国分寺駅ホームのホームドアの設置時期は。JRにも積極的に働きかけを求める。**市長)** 下半期には設置予定。JRにも引き続き要請する。

公明党
さの 久美子



5. 健康施策について

問) 高齢者肺炎球菌ワクチンの市独自の予防接種費用助成制度は事実上制限撤廃。大いに評価する。**市長)** 接種率向上と肺炎予防の効果を図りたい。**問)** 乳がん検診にマンモグラフィ検診車導入との表明。受診環境の拡大を評価する。**市長)** 土日に市役所、いずみプラザにて年29回実施。受診率の向上、早期発見を図りたい。

6. 防災力の向上について

問) 昨年の台風を受け、地域防災計画等の見直しは迅速に。災害時等障害者支援バンダナ等の備品の拡充を評価。使いこなす訓練が必要。**市長)** 風水害対応を強化。防災訓練で行いたい。

7. 「パートナーシップ制度」の導入について

問) 性の多様性に対応する制度、どう検討し進めるのか。**市長)** 令和2年度中の導入を目指す。**問)** 戦後75周年の節目。平和の次世代への継承策は。**市長)** 新たに長崎から伝承者を招き、被爆者から聞いた被爆体験談を聞く機会を設ける。

景気大悪化—くらし支える施策こそ展開を

●安倍政権の7年間で、家計消費が31万円減、つまり一ヶ月分の消費を奪われたことになる。急激な悪化のもとで①市民負担を増やす政策メニューはストップすべきではないか。

②国民健康保険税のこどもへの均等割課税を軽減すべきと、多摩でも6市が実施に。都議会にその分を都が負担する条例を提出しており、チャンスを生かし、市も実施を決断せよ。

③後期高齢者医療保険料の値上げで、初の10万円台と心配されているが212億円の基金活用で負担増やめるように、市長として意見表明を。

④介護保険料の見直し年だが、過大な給付見込みの見直しと、基金の活用で値下げ可能だ。

市長) ①財政基盤の確立めざし市民負担の先送りはしない。②国が責任をもつべきで、市長会で要望し続けている。③後期保険料への基金活用は広域連合として考えていないが、剰余金で抑制ときいている。④介護保険料の基金活用は考え直して精査しながら進めたい。

●都立病院の「独法化」=サービス低下反対を都知事が、都の方針を投げ捨て、多摩総合医療センター、小児医療センター、神経病院など地

方独立行政法人化を突然強行しようとしている。

三病院の一日当たりの市民利用は636人も。独法化したところは、医療の後退、患者負担増が現実になっているが、難病、高度医療など採算の取れにくい「行政医療」を担って、かけがえのないものだ。

市長) 多摩地域の高度な重要な医療機関との認識は同じだ。サービス低下、支障ないように市長会と連携し要望したい。

●新庁舎建設と跡地利用にもっと市民と職員の参画を求めるべき

新庁舎基本計画に4~5ヶ月、跡地利用計画に10ヶ月ほどで時間も、進める体制もあまりに不十分なのではないか。市民にとって大切だ。

市長) 体制は4名から大幅に増員する。新庁舎のレストランの可否は控える。西国分寺駅東口開設は努力する。跡地計画も声をききまとめる○サービスレベルを下げない○再配置と複合化○恋ヶ窪駅周辺として○民間業者の意見も聞き一部収益の上がるものを考えたい。

●ジェンダー平等の推進、パートナーシップと共に選択的夫婦別姓を

日本共産党国分寺市議団
中沢 正利



過去最低の121位のランクは、ギャップ是正に取りくんでいないからである。思い切った努力をすべきだ。

市長) パートナーシップ制の導入とともに、市民、事業者の啓発を行う。夫婦別姓は機会に合わせて声を聴きたい。

●小学校給食の調理施設の活用を防災計画で明確化、具体化すべきではないか。

調理の委託化がすすめられているが、避難所での食事の提供は命の問題であり再検討を。

市長) 非常時には使えることにはなっている

●市民への提起と日頃の備えがないとすまない問題である。

●ギガスクール構想を文科省は全面的に進める動きだが、集団の中で学び人格の完成をめざす学校教育が根底から壊される恐れがある。

教育長) 今後、検討が必要で、メリットもあるので、しっかり対応していきたい。

●他に核兵器禁止条約、幼保無償化拡大策も。

共生社会の実現に向けた事業の充実を！

(問) お互いに思いやりがもてる温かいまちづくりをしていきたいとのことだが、一方で困難を抱える人が増えている。個人の問題として捉えるのではなく、社会に生きづらさがあると認識することも必要だ (市長) 孤立することが一番まずい。問題の解決に至らない。多くの人たちが支え合うことが必要で地道なつながりづくりが重要 (問) 幼い頃から様々な関わりの中で育まれる力は計り知れない。インクルーシブな保育や教育をもっと進める必要がある (教育長) 特別支援教育の視点が極めて重要だが、特別支援という言葉すらなくなる社会を目指すことが必要かもしれない。一人ひとりの教育ニーズに応じた適切な指導や必要な支援が行われるよう環境を整えていきたい (問) 交流や共同学習の

時間がさらに充実するよう指導や支援が柔軟に行える体制整備を求める (教育長) 具体的な方策として教育委員会としてもしっかり考えていく (問) インクルーシブな教育や共生社会に向けた事業の充実に必要な予算づけを求める。

(市長) 補助金も活かしながら一つ一つ前に進めたい (問) 自動販売機のペットボトルを缶に変えるとのことだ。飲料水は缶入りがないため、マイボトルに水が汲める「給水機」の設置を提案 (市長) ペットボトルをなくすには代替品が必要。一つの検討要素だ (問) 新たな公園の整備や遊具の更新時には、例えば、車イスのまま遊べる砂場や背もたれとベルトのついたイス型のブランコなどを設置し、障がいの有無にかかわらず子どもたちが一緒に遊べる遊び場づくり

無党派(国分寺・生活者ネットワーク)
高瀬 かおる



を! (市長) 安全面に充分配慮しながら検討したい (問) 児童虐待について、親を孤立させない初期対応と、子どもたちが安心して相談できる「子どもの権利の視点」にたった第三者による相談体制の整備を求める (市長) 初期対応が非常に重要だが保護者との面談では発見しにくい部分もある。子どもが何でも相談できる専用電話を子ども家庭支援センターに設置している (問) それらも重要だが、公的な第三者機関だからこそできることもある。検討を求める。また、戦後75年の本年、世界平和に向けて一人ひとりが考え行動できる平和祈念事業の開催を要望。

予算議案を 問う

一般会計予算議案に対する討論(要旨)

3月26日の本会議で令和2年度一般会計予算議案に対する表決に先立ち、各会派等を代表して賛成・反対の討論が行われました。各会派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを掲載しています。実際の討論は、自由民主党市議団、国分寺政策市民フォーラム、公明党、日本共産党国分寺市議団、無会派(国分寺・生活者ネットワーク)、無会派の順番で行われましたが、紙面の都合上このように掲載しています。

賛成

持続可能な財政と市民第一の政策展開を

財政全体について 収支均衡型予算を評価

令和2年度の一般会計予算は476億8,885万4千円と前年度比較で15億6,374万8千円(3.4%)増の過去2番目の規模での予算となった。歳出では保育所委託費等の増加要因が、歳入ではふるさと納税を原因とする税源流出等による減収要因があるなど依然楽観視できない状況にあるが、これまで同様ゼロベースでの見直しを進め、結果として経常収支比率の引続きの改善や公債費の未償還額の減少等を見込むなど収支均衡型予算として評価できる予算編成となった。一方、市の将来の財政を一定拘束する債務負担行為について近年大きく増加傾向にあることが懸念される。事業一つ一つは必要性に基づき設定されたものだが、全体としてどうコントロールしていくのか他市状況調査等も含め検討を求める。中長期的に人口減少は不可避とされる中、市税に歳入の多くをよる本市として引き続き将来世代につなぐ持続可能な財政経営継続を求める。

新庁舎建設と仕事改革について

令和2年度においては設計・建設に向け事業者

選定が予定され、またこれとあわせ仕事改革・生産性向上を目的にAI-OCRやRPA等のIT技術活用推進に関連する予算も計上されている。ハード・ソフト両面で既存のやり方に捉われない新たな市役所をつくり上げることを求める。また現庁舎用地活用についても衆知を集め恋ヶ窪周辺はもとより全市にわたっての納得感ある賑わい創出に資する取組みを求める。

市民の安心安全のため ブロック塀調査事業

多摩地域初となる市内全域のブロック塀の安全性の実地調査が行われることを評価。市民の安心安全への市長の強い思いの表れとして認識。

体育館へのエアコン設置 子供施策について

昨年設置の第一中学校体育館の空調設備の効果検証と他市状況調査を踏まえ、令和2年・3年度にかけ市内小中学校全校の体育館にエアコンが設置されることになった。効果と財政両面でしっかり検討した上での判断であり評価する。また幼児教育・保育無償化の非対象児童に対する「幼児養育費補助金」は国に先駆け創設される市の独自の取組みであり高く評価する。

その他 引続きの保育所の誘致・整備、学童保

自由民主党市議団 (賛成8人)

小坂みちよ 吉田りゅうじ
丸山 哲平 田中 政義
尾作 義明 新海 栄一
尾澤しゅう 本橋たくみ



丸山 哲平

育所拡充、高齢者福祉分野も含めた人材確保支援の充実、健康寿命延伸に向けた各種取組みや国分寺駅北口事業の完成等々、既存の事業・取組みのさらなる推進と強化についても取りこぼしなく計上されていると判断、評価する。

新型コロナウイルス感染症への対応について

日々情勢が変化し、影響の程度や収束時期など現時点で断定出来ない状況だが、既に一斉休校や諸活動の停滞等、市民生活に大きな影響もたらされている。こうした中、市民の安心と安全を担保するため新規歳出の必要性が出てくるのが予想される。市長には強いリーダーシップを発揮し、もとより経常的支出への基金等の活用には慎重であるべきだが、現下の臨時的・緊急的な状況においては大きな財政的支出も必要となれば果敢に進めることを求める。政策・資本の漸次投入ではなく大胆な取組みが必要である。状況認識はシビアに、対応には希望と実行力をもってあたることを求め賛成討論とする。

賛成

市民のために第一に考え予算の執行にあたり

令和2年度の予算規模は476億8,885万円で過去2番目だが平成29年の国分寺駅北口再開発ビル関連の予算を除くと過去最大になる。

昨年の財政フレームでは令和2年度は2億9,000万円の財政不足と予測されていたが、歳入歳出ともにゼロベース積み上げ方式で編成した結果、財政調整基金を取り崩すことのない収支均衡予算となったことは厳しい財政状況を考えると大いに評価できる。

国分寺市の人口は新しい人口ビジョンでは令和12年度まで増加が続き、昨年の人口増加率は多摩26市で1位だった。人口増と雇用・所得状況の安定により収入の50.1%を占める市税は昨年比5億4,000万円増の238億9,000万円を見込んでいる。ふるさと納税による5億円減などもあるものの地方消費税交付金の6億円増も見込み令和2年度も普通交付税は不交付となる見込み。

歳出については扶助費142億、人件費77億、事業費42億、補助費等は51億円となっている。

令和6年度までの財政フレームでは令和3年度から財政不足が見込まれ、新庁舎の建設などを考えれば一定理解できるが、令和6年度の基

金残高54億では基金残高50億円の目標ぎりぎりであり楽観できない状況である。

今年一番大きなイベントであった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大で一年延期することになった。残念だが来年度にむけていろいろ工夫して違った形でイベントなどできればと考えている。

新規事業についても小・中学校体育館へのエアコン整備、バリアフリー基本構想の検討、西武線のホームドア整備、保育所4園新設、幼児養育費の補助金創設、新幹線のリフレッシュ、PR動画の作成、国分寺駅北口交通広場の工事完了、プレイステーションの移設、ブロック塀の全調査、正規職員採用年齢の40歳までの拡大などについて評価する。

4/1から長年の懸案であった可燃ゴミの共同処理が始まる。清掃センターの火災など予期せぬことも起こり得るので順調な進行管理をお願いしたい。

7月からのペットボトルの戸別収集についてはあくまで排出抑制を目標にして店頭返却への

国分寺政策市民フォーラム (賛成4人)

だて淳一郎 はせべ豊子
星いつろう 及川 妙子



及川 妙子

より一層の周知を徹底してほしい。

4/1から導入される会計年度任用職員制度についてはそれまでの報酬月額を下回らないことが確認されているが、適正配置を行ったことから職場での混乱がないように慎重かつ柔軟な対応をお願いしたい。

令和2年度は長年の懸案であった国分寺駅北口再開発事業が年内の交通広場完成をもって終了し、新庁舎の場所が決まり、新しいスタートを切る節目の年になる。大いに市民参加を進めて盛りあげていただきたい。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため3/2から小・中学校は休校、イベントは中止、公共施設も休館となっている。今後については定かではないが当市の予算にもさまざまな影響がでるだろう。想定外のことが次々とおこる昨今、自治体経営も至難のわざだが、常に危機意識をもち、何が最善かを考え、何よりも市民のために第一に考え予算の執行にあたっていただきたい。

賛成

コロナ問題対応へ財政調整基金の活用を！

令和2年度予算が収支均衡になったことは高く評価する。しかしながら令和3年度以降は令和6年度までの4年間で約30億円の歳出超過が見込まれており、一層の財政規律を望む。

9年前にはほぼ底をついていた、市の貯金である財政調整基金を48億8千万円まで積み増したことは評価するが、現下のコロナ対策などの緊急対応にこそ躊躇することなく活用すべきだ。

ふるさと納税の流出が止まらず、健全な財政運営にも影響しかねない。しっかりとした対抗策を考えていくべきであろう。

歳入に関わり、納税催告書の第三者への誤送付という事実を明らかにした。個人情報保護の観点からも決してあってはならず、再発防止の事務改善を求める。歳出に関しては概ね適切な予算計上であると評価するが、中長期的視点で、

無会派 (賛成1人)

木村 徳



木村 徳

土地の賃貸借により設置・運用されている公共施設に関しては速やかに賃貸借を解消すべきだ。

コロナ問題を乗り切るために、市長の一層のリーダーシップで市民の生命・安全・健康を守って頂くことを求めて本予算案に賛成する。

賛成

緊急事態見越し市民に寄り添った市政運営を

令和2年度予算は前年度比3.4%増の476億8千万円を超え過去二番目の規模になる。今後新庁舎用地取得と基本設計から事業者選定、現庁舎用地の活用検討、築年数を重ねる学校を始め公共施設個別施設計画に基づいた取り組みが本格化する。幼児教育・保育の無償化経費、保育所・民設学童保育所整備、会計年度任用職員制度の開始等々歳出見込みが想定され、歳入ではふるさと納税の財源流出が4億円超えと推定される。各部署ゼロベースで見直しを進め予算編成した結果、財政調整基金を取り崩すことなく収支均衡型予算として編成できた事は評価するが、財政フレームの歳入歳出見込み額を念頭に無駄な支出を常に確認しながら財政規律を堅持し将来世代への先送りは避けなければならない、安定した財政運営を行って頂けるよう求める。

子育て環境の整備について 幼児教育・保育無償化対象外の施設利用者に対し国に先駆け本市独自の「幼児養育費補助金」制度の創設は保護者の負担軽減が図られ高く評価したい。

児童虐待防止の取り組みについて

親による虐待が後を絶たず昨年東京都が保護者

による体罰禁止を規定し、児相の把握事案が市へも送致となった。次年度児童家庭相談システム導入で実態把握の迅速化が図られるが、庁内連携しスピード感をもった対応を強く求めたい。

顕在化されない地域福祉の取り組みについて

学生や会社勤めの10代20代の若者が家族介護を担っている**ヤングケアラー問題**は深刻である。地域福祉コーディネーターが把握する潜在的課題が事務職採用で情報管理され家族に寄り添った相談支援と思いやりある一層の取り組みを願う。

病気予防・健康推進の取り組みについて

女性特有のがん検診**マンモグラフィー検査車**導入で土日受診の環境整備を評価。周知に努め受診率アップの取り組みを求めたい。又他市医療機関での受診は粘り強い交渉をお願いしたい。

乳幼児ロタウィルスの無料予防接種と高齢者肺炎球菌ワクチン助成の**年齢制限撤廃**を評価。周知を（65歳以上5歳毎の接種対象者→希望者）。

安全で快適な教育環境整備について

避難所ともなる小中学校体育館の冷暖房設備整備は第一中学校の設置検証を元に2か年で市内全校に整備を評価。計画通り推進を求めたい。

公明党
(賛成3人)

高橋りょう子 さの久美子
木島たかし



高橋りょう子

戦後75周年平和記念行事について

戦争体験者の減少や意識が薄れていく今。若者等に惨禍を伝え世界平和を継承しゆく為、長崎から伝承者を招き被爆体験と想いを語って頂く取り組みは高く評価。平和推進事業に期待したい。

防災力の向上、市民の安全対策について

災害時夜間使用可能な**携行型LED掲示板**や周囲の配慮が期待される**障がい者支援バンダナ**配備を評価。まずは災害時に活用できるよう防災訓練実施を強く求める。又液体ミルク取扱いドラッグストアとの災害協定締結を評価したい。

ブロック塀倒壊防止撤去工事助成は狭隘道路の見直し改善にも役立つ。**市内全域実態調査**は計画通り実施し市民の安全対策を図って頂きたい。新型コロナウイルスによる景気動向は予測困難。市内農業・商工業従事者や保護者等に対する国や都の支援情報等を迅速に収集しSDGsの定める困難な状況に陥った人々を誰も置き去りにしない持続可能な市政運営を求め賛成としたい。

反対

くらしの危機に立ち向かい守り支える施策を

いま消費税の増税をはじめ市民への負担増が目白押しです。新型コロナウイルスの影響で減収となっている家計も少なくありません。

困難な事態の今こそ、政治は市民のくらしに心を寄せ、支えていく策を講じるべきです。

しかし、安倍政権が掲げる全世代型社会保障は、高齢者を中心に現役世代にも負担増を押し付ける内容です。新型コロナウイルスの問題でも、国がこれまで保健所を大幅に削減してきたことなどの矛盾が噴出しています。更に国・東京都は公的医療機関の廃止・縮小を進めています。このような国等の動向に対して、基礎自治体だからこそ市民の利益を守る立場から堂々と是正や中止を求めること。加えて、市としても可能な限り市民の為の施策を実施する立場に立っているかどうかが大きく問われています。

しかし、他市でも実施の例が広がっている国保税の子どもの均等割の減免を実施する考えは無いなど、市民のくらしを支えるには不十分だと判断し、予算案には反対します。

以下、個別の分野や事業についてです。

小中学校体育館へのエアコン設置について、

2021年度までに設置すると決断したことは評価しています。しかし、もっと早く決断するべきでした。夏前に設置することを求めます。

庁舎移転後の跡地について、民間が活用する部分については検討されている一方で、市民にとって影響が大きく関心の強い公共施設の移転に関わる検討がすすんでいません。公共施設部分の検討を先にすべきであり、早急に市民参加による検討を進めるよう求めます。

幼児養育費補助が新たに新設され、幼保無償化の対象外の方に補助を行うことは一定の評価をしますが、1人月5千円（無償化では1人月2万7千5百円）という水準は不十分であり、早急な改善が必要です。

環境問題について、気候変動の危機と言われている事態にふさわしく「緊急行動計画」を検討するなどの対応が必要です。市民も行政も事業者も問題と目標を共有して立ち向かって行くためのステージをつくる時だと、呼び掛けます。

ペットボトルの戸別収集にともなう市の処理量の増加を抑えていくことは課題です。有料化ありきではなく、市民と共に考えていく自治体ら

日本共産党国分寺市議団
(反対3人)

中沢 正利 岡部 宏章
中山 とう



岡部 宏章

しい努力と取り組みを求めます。

ギガスクール構想では一人一台の端末配布で企業の教育への参入を進めようとしています。これまでの教育のあり方を大きく変えることとなります。市民による検討が欠かせません。

ジェンダー平等について、その一つとして選択的夫婦別姓に賛成が圧倒的多数です。また、同性婚も認めるパートナーシップ制度の実施も課題となっています。日本はジェンダー平等では世界153カ国中121位という極めて遅れた現状です。認識をより拡大するために「男女平等」から「ジェンダー平等」といったより広い概念を含む呼称へと発展させることを提案します。

***その他、高齢者配食サービスの継続、福祉センターの修繕や恋ヶ窪公民館へのエレベーター設置、学童保育所の狭あい状況の解消と高学年児童の受け入れ、小学校給食調理の民間委託の再考と災害時の設備の活用、保育園の待機児童解消と保育士の処遇改善などを求めました。**

賛成

新型感染症に対応する財政運営を！

令和2年度一般会計予算額は約476億8千万円、前年度より約15億6千万円増となった。昨年12月の国分寺市人口ビジョンでは、75歳以上の後期高齢者人口は令和37年まで増加が続く見通しとなり、社会保障費をはじめとする扶助費の増加が見込まれる。また、**新型感染症や大規模災害等、不測の事態に対応できる財政的な備えが必要だ。**今後の財政見直しでは新庁舎やリサイクルセンターの建設等、大型事業が予定されていることもあり、令和2年度には庁舎建設基金約46億円を含む約123億円の基金残高が令和6年度には約54億円となる試算がされた。今後は更に現庁舎跡地の活用をはじめ、公共施設マネジメントにも多額の予算が必要だ。学校施設の長寿命化計画は、施設の質的向上と修繕・更新

コストの縮減や平準化を目的としているが、障がいのあるなしにかかわらず共に育ち学ぶために、バリアフリー化の推進や教育環境の整備、環境への配慮等の機能向上もあわせて進めるべき。その裏付けとなる資金計画についても具体化することを求める◆**個別事業について**◆**医療的ケアが必要な児童支援**の協議の場が新設されることは大きな一歩だ。保護者や子どもを含む現場の声を聞き、課題の抽出と必要なサポート資源の検討を要望する◆**気候変動**は待った無しの課題である。市民や事業者との協働で「**地球温暖化対策実行計画（市域版）**」を速やかに策定し、気候危機対策を推進すべき◆**増えている不登校児童・生徒への支援**として、トライルームの分室設置や訪問型を含む支援の拡充を◆**特**

無会派(国分寺・生活者ネットワーク)
(賛成2人)

岩永 康代 高瀬かおる



岩永 康代

別支援教育の推進にむけ、七小・二中が武蔵台学園から受けた支援内容を、まずは**全特別支援学級**の教員と支援員に共有し現場の指導力の向上を求める。更に合理的配慮の視点から全校での共有を要望する◆**学校給食**の牛乳事業者が紙パックを回収しなくなったため、新たに回収処理を約530万円で委託することになった。これを機にびんに切り替える自治体もある。環境の視点からリユースできる**びん牛乳**導入の検討を求める。以上、持続可能な地球環境と誰一人取り残さない地域社会の実現にむけ、市民とともに考え、ともに進めることを求めて賛成とする。

国分寺市議会活動報告

青梅市庁舎視察



(青梅市新庁舎建設工事の概要説明の様子)



(青梅市議場視察の様子)

令和2年1月20日(月)に青梅市役所を訪問し、市庁舎と議会フロアについて視察しました。青梅市新庁舎建設工事の概要についてご説明いただき、利用しやすくするための工夫や市民サービスの向上のために配慮している点などを学びました。5年後の建設を目指している泉町への新庁舎建設の参考にしてまいります。

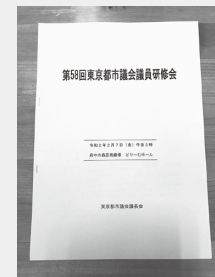
国分寺市議会議員研修会



(国分寺市役所委員会室にて)

令和2年2月6日(木)に「防災と危機管理—地方議会の役割と課題」について学ぶため、明治大学名誉教授中邨章氏を講師に迎え、議員研修会を実施しました。

東京都市議会議員研修会



(府中の森芸術劇場にて)

令和2年2月7日(金)に東京都市議会議員研修会に参加しました。アーチェリーのオリンピックメダリストの山本博氏を講師に迎え、「オリンピックを目指して得られたもの～五輪メダリストからのメッセージ～」をテーマに学びました。

シリーズ 国分寺市議会⑪

政務活動費とは(その2)

政務活動費は、議員の市政に関する調査研究その他活動に資するため必要な経費の一部として交付されています。

国分寺市議会では、国分寺市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、年間で議員一人あたり24万円の政務活動費が交付されており、支出にあたっては、国分寺市議会政務活動費経理要領の用途基準に従い、必要な経費以外には充てることはできません。

各議員は年度終了後、政務活動費に係る収支報告書・会計帳簿等を議長へ提出しなければならず、議長は提出された収支報告書等の内容が適正であるかを審査したうえで、その写しを市長に提出しています。

これまでも収支報告書等は、情報公開請求のうえで閲覧す

ることができましたが、議会改革の一環として、更なる開かれた議会を目指し、今年7月を目途に前年度分(令和元年度分)の収支報告書及び用途基準をオープナーや議会図書室、ホームページで公開する予定です。

政務活動費交付額一覧

国分寺市議会	1人当たり 年額24万円/人
多摩26市 議会平均	1人当たり 年額32万円/人
東京23区 議会平均	1人当たり 年額198万円/人

(令和2年4月1日現在)



令和2年 第1回定例会 陳情の審議結果について

陳情番号	件名	付託先委員会	結果
陳情第元-3号	おたかの道湧水園にある長屋門の活用推進についての陳情	厚生文教	不採択
陳情第元-4号	小中学校体育館にエアコン設置を求める陳情	厚生文教	継続
陳情第元-8号	西国分寺駅東口の早期設置と日影山西側に恋ヶ窪側乗降口の設置を伴う南北自由通路の整備を求める陳情	建設環境	取り下げ・承認
陳情第2-1号	西国分寺駅東口の早期設置と日影山西側に恋ヶ窪側乗降口の設置を伴う南北自由通路の整備を求める陳情	建設環境	採択
陳情第2-2号	国に対し「主要農作物種子法廃止法案にかわる日本の種子保全の法整備を求める意見書」の提出を求める陳情	総務	継続
陳情第2-3号	学童保育所の狭隘状態解消と高学年児童受け入れに関する陳情	厚生文教	継続
陳情第2-4号	天皇陛下の御即位をお祝いする賀詞決議に関する陳情	総務	採択

天皇陛下御即位を祝す賀詞に関する決議を可決

3月26日（木）開催の本会議において、陳情第2-4号 天皇陛下の御即位をお祝いする賀詞決議に関する陳情が採択されました。これを受け、同日開催の本会議において決議が提出され、賛成多数で可決しました。決議文は次のとおりです。

天皇陛下におかせられましたは、風薫るよき日に、御即位されましたことは、まことに慶賀にたえないところであります。天皇皇后両陛下のいよいよの御清祥と令和の時代の末永き安寧と繁栄をお祈り申し上げます。ここに国分寺市議会は、謹んで慶祝の意を表します。

令和2年3月26日 東京都国分寺市議会

定例会・委員会の開催予定について

どなたでも傍聴できます

令和2年第2回定例会や閉会中の委員会の開催については、新型コロナウイルス感染症に係る情勢を考慮しながら、随時協議し決定していきます。開催日程につきましては、ホームページをご参照いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

なお、本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で開催します。

本会議については、ライブ中継・録画配信を行う予定ですのでご利用ください。

傍聴にお越しの際は、マスク着用と手指消毒にご協力をお願いいたします。また、体調の優れない方は傍聴をご遠慮いただきますようお願いいたします。



「日曜議会」を開催

身近な、開かれた議会を目指します

令和2年第1回定例会初日の2月21日（金）に、市長から施政方針が発表され、施政方針に対する各会派からの代表質問を2月23日（日）に行いました。

当日は、インターネット中継でライブ配信も行い、傍聴にお越しいただいた方も含め、多くの方に代表質問の様子をご覧いただくことができました。



障害者等への合理的配慮について

どなたでも傍聴できます

聴覚などに障害のある方のため、市議会を傍聴する際に、手話通訳者または要約筆記者を派遣します。事前に予約が必要で、費用は無料です。

また、盲導犬、聴導犬、介助犬と一緒に傍聴も可能です。

詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

インターネット動画配信について

どなたでも視聴できます

令和2年第1回定例会の本会議で行われた代表質問と議案審議は5月31日（日）まで、予算特別委員会は一定期間、市議会ホームページからご覧になれます。

また、次回令和2年第2回定例会の一般質問と議案審議のライブ中継・録画配信を行う予定です。ぜひご利用ください。

請願・陳情の提出について

どなたでも提出できます

市民の皆様の行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。

請願・陳情はいつでも提出できますが、令和2年第2回定例会（6月1日（月）開会予定）からの審議を希望する方は、**5月12日（火）**までに直接議会事務局へお持ちください。

本会議録・委員会記録について

どなたでも閲覧できます

令和2年第1回定例会の本会議録（全文掲載）は**6月1日（月）**より市議会ホームページで閲覧できます。

また、本会議録は平成元年、委員会記録は平成17年以降の記録から閲覧できます。

上記の詳細は、次の方法で知ることができます。

● 国分寺市議会ホームページ

<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shigikai>

国分寺市議会

検索

● QRコード

スマートフォン等で読み取るとサイトにアクセス



市議会ホームページ



動画配信ページ

● 議会事務局への問い合わせ ☎(042)325-0111 (代表) FAX(042)327-1426

【定例会・委員会について、インターネット動画配信について (議事担当)内線468】 【請願・陳情について (調査担当)内線581】
【障害者等への合理的配慮について (総務担当)内線467】

第1回定例会議案審議結果

第1回定例会には新規41件(市長提出40件、決議1件)の議案が提出され、可決23件、同意18件となりました。

Table with 5 columns: 議案番号, 議案名, 議案の要旨, 付託先委員会, 結果. Contains 41 items including budget proposals and personnel appointments.

国分寺駅=国分寺駅周辺整備特別、公共施設=公共施設等総合管理特別委員会、補正予算=補正予算審査特別、予算=予算特別、-=本会議即決

議案に対する議員の表決状況(賛否の分かれたもの・退席があったもの)

Table showing voting status for various proposals across different political parties (自由民主党市議団, フォーラム, 公明党, 共産党, ネット, 無). Includes columns for 議員名 and 議案名.

・表決 (○=賛成 ●=反対 退=退席)

・会派名 (フォーラム=国分寺政策市民フォーラム、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=無会派(国分寺・生活者ネットワーク)、無=無会派)